

消

こんにちは！
費生活相談室です 78

消費生活相談室 ☎47-1106 FAX44-7957

「無料で点検します」と言いつて訪問し、「早く手を打たないと大変なことになる」などと不安感をあおって高額な商品を販売したり、強引に作業を進めたりする訪問業者とのトラブルが起っています。

◆事例
「無料で屋根や床下の点検をする」と訪ねてきた業者に依頼したところ、「瓦が壊れていてこのままだと雨漏りする」「床下が湿気ていてこのままだと腐る」などと恐れ不安になり、勧められた高額な工事契約をしてしまった。

そのほか、「布団の点検」「水質の点検」と言いつて訪ねる業者もあります。

◆アドバイス
「無料で点検します」と言いつて訪問し、「早く手を打たないと大変なことになる」などと不安感をあおって高額な商品を販売したり、強引に作業を進めたりする訪問業者とのトラブルが起っています。

み

んなで拓く人権文化 64

地域振興課人権政策室 ☎47-1102

私の周りの人権

「あなたはいつでもどこでも研究されるのですね。」
インタビュに答えて、その学者は、
「理数に強いのは父親のおかげです。家の仕事に熱心で、学問好きな父親が、数式の解ける喜びを教えるもので、周りから、道を歩いても計算できる力が付きました。周りにいる大人と話すことで、よく聴いて、筋道の通った話をする力も付きました。同世代の人と自由に議論することで、自分の考え方を深めることができました。自分と違った経験をしている人と話すことが、まだ経験していない知識を得ることにつながるからです。研究者としてあこがれる人と一緒に学べることは感激です。このような好奇心は、子供も、周りの大人もいつまでも持ちたいものです。」と話します。こ

の人は、宇宙の始まりや物のしくみについて研究を続け、一人ひとりの生命を大切にしたいと語ります。
人は、一人ひとり性格や考え方も異なります。
私たちの周りのさまざまな人権問題についても、お互いの意見と経験を聴き合い、異なる意見を打ち消すことなく、結びを急がずに向かい合いつて話す場が必要です。私たちが気づかずにいるだけで、身近なところにある問題、例えば、生まれや出身によって、偏見をもつて判断し差別すること。「女のくせに」、「子供のくせに」、と言いつて見くたすこと。「高齢者だから」、「障がいがあるから」とかわいそうに思うこと。「病気の感染者だから」と嫌いつて避けること。「外国人だから」とおし除くことなど、さまざまな問題があります。違いを認め合い、だれでも当たり前に参加できる社会をつくりたいものです。
(人権教育推進員 佐賀有道)

今月のサロンコンサート

「初冬の心温まるアンサンブル」

月とき・ところ 11月28日(金)午後7時30分～8時40分
文化ホール(入場無料)

月出演 さかいみなとウインドアンサンブル
さかいみなと弦楽アンサンブル

クラシックからポップスまでおなじみの曲でアンサンブルを身近に聴かせてくれる2グループ。前半は、管打楽器で編成する「さかいみなとウインドアンサンブル」、後半は弦楽器で編成する「さかいみなと弦楽アンサンブル」の演奏をお楽しみください。

(問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)



図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099)

『ことばにのせて』
全国小学生俳句英訳秀句選
日航財団:編

『小さな空』
風野潮

『だんまりこおろぎ』
エリック・カール:作
くどうなおこ:訳

『ある日突然、介護することになった人のための本』
櫻木八重子:監修

『誘拐児』
翔田寛

『誘拐児』
翔田寛

今月の新規・寄贈図書

◇「理科」数学が好きになる楽しい数
理実験(高木隆司)◇めぐるめく部屋
の森(玄月)◇金正日の正体(重村智計)◇
訣別の森(未浦広海)◇義弟(永井する
み)◇青春の十字架(森村誠二)◇大和
ごころ入門(村上正邦)◇魚づくし(中
嶋貞治ほか)◇ほか計388冊

さがいみなと文化財巡り 56

境港の老農たち ①

老農という言葉があります。老農とは農業に精通した者を行い、地域の農業技術の普及改善に尽した人のことです。弓ヶ浜半島の広漠たる砂丘地はいずれにしても農業には適さない土地柄でしたが、浜人は敢然とこの地を開拓・開墾をしてきました。その点では浜の目の農民は全て老農と呼ばれるべきでしょう。

しかし米川の通水以降、江戸時代末期には米麦や綿作は量的にも実績を残すようになってきました。弓ヶ浜全体に栽培されることになったのです。経験から打ち出された農業技術と農事改良に積極的な人材を求め、その指導から農民の生産意欲向上に期待したからです。

明治に入り新政府は、富国強兵と殖産興業の二大政策を掲げ、農業殖産では明治十四年に、農商務省を設置し欧米農法の移入政策から、国内の在来農法を見直す政策転換をしました。このときに「老農」の役割が重視されることになったのです。経験から打ち出された農業技術と農事改良に積極的な人材を求め、その指導から農民の生産意欲向上に期待したからです。



老農松本兵吉記念碑

境港には、麦の品種改良の松本兵吉、綿作改良と新品種に尽力した浜田次郎吉や村田吉重の老農が知られています。

◎松本兵吉は、天保八年(一八三七)二月七日今の渡町下大沢に生まれ通称覚兵衛。篤農家であつた父の影響を受け農事には勤勉の人でした。明治八年千葉県の国府台で下士官養成中死去した、弟鉄蔵の遺骨とともに帰り道、富士山麓の麦畑で茎がシッカリした麦を偶然見つけました。これを持ち帰り研究改良し、少しの風では倒れない茎で脱穀は容易、味は従来の麦に負けず、収量も多い「大沢麦」の新品種の麦種となりました。

早速近隣に紹介し栽培を促した結果、弓ヶ浜全体に栽培されることになったのです。

大正三年の第一次世界大戦が始まると食糧の自給が叫ばれ「大沢麦」は優良品種として県下に奨励普及されるまでになりました。功績を称徳した老農松本兵吉の記念碑は、渡町の先賢碑園に建てられています。

(市史編さん室 小灘浩)

お忘れなく！

国民健康保険税第5期

の納期限は
12月1日(月)です。

※便利な口座振替をご利用ください。